

知って備える 防災メモ

第83回



地域の絆で命を守る 『自主防災組織』

太平洋に面し、支笏洞爺国立公園をはじめとする豊かな自然に恵まれている登別市には、地震や津波、洪水、土砂災害、火山噴火など、さまざまな災害が発生する可能性があり、これらの災害から命を守るためには、自分の命を自分で守る『自助』・地域で協力して互いを守る『共助』・行政などが支援を行う『公助』の連携が大切です。特に、災害の規模が大きくなるにつれて、行政などによる支援が届くまでに時間がかかることが多く、『自助』と『共助』の重要度が増してきます。

自主防災組織をご存じですか

自主防災組織とは、『自分たちの地



▲令和元年9月17日(火)に行い、約100人が参加した自主防災組織防災研修会

域は自分たちで守る』という『共助』の意識のもと、町内会や自治会など、地域の皆さんが自主的に防災活動を行っている団体です。災害による地域の被害を最小限に抑えるため、防災訓練・防災に関する講演会などの実施、地域に危険な場所がないかなどの確認、防災資機材の整備・点検などを通して、備えの充実を図っています。

令和元年12月末日現在、市内では計39団体が『自主防災組織』として活動しており、活動団体数は、年々増加傾向にあります。市は、自主防災組織の設立や防災活動の促進を目的として、必要な資機材購入の補助や自主防災組織を対象とした研修会を実施するなど、支援を行っています。

地域の自主防災組織の活動に参加することもできますので、お住まいの地域の組織を知りたい・活動に興味があるという方は、総務グループに問い合わせください。

▼問い合わせ

総務グループ (☎01130)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

ドジッタマザーズ

今年で設立から43年目を迎えた『ドジッタマザーズ』は、市教育委員会が主催した『卓球教室』を受講した方によって結成された卓球サークルです。

現在のメンバーは、50代から70代までの女性17人・男性3人の計20人。毎週水・木曜日の10時から15時まで、総合体育館で活動しています。

「卓球は、相手が打ってきた球に素早く反応する機敏さや台の周囲を広く動き回る体力が重要なスポーツです。会員には初心者の方もいますが、会員それぞれの力量に合わせて、ラリーやサーブ、スマッシュなど、多様な練習を積み重ね、技術の向上を目指しています」と話すの



卓球で明るく楽しく、 良い汗をかきませんか



▲軽快にラリーを繰り広げるメンバー

は、代表であり指導者も務める長尾恵子(長尾恵子)さん。

毎週の運動が健康づくりにもつながっていると、長尾さんは、「春から秋にかけて、年5回ほど大会に出場しています。普段の生活では味わえない緊張感が楽しめるのも魅力の一つです」と教えてくれました。

10年前に入会したという藤原鶴子(藤原鶴子)さんは「運動不足を解消したくて入会しました。メンバー同士でアドバイスをし合ったり、休憩時間に一緒にお弁当を食べるなど、和気あいあいとした雰囲気大好きです」と笑顔を見せます。

初心者・未経験者も大歓迎の『ドジッタマザーズ』。活動に興味のある方は代表の長尾さん(☎01130)まで。